

今年度最初の Strum は、昨年度の会計報告とともにお届けします。イギリスの動向で伊都さんの先行きも気になるところですが、ファンとしては、今年は今までになく多くのコンサートに恵まれる年…この際、楽しませていただきます。猛暑の予報の夏、体調を気遣いながらも充実した日々を過ごしたいものです。9年目の TRAUBEN にまたお付き合い下さい！

近況報告

激震のイギリス EU 離脱、英語でよく使われる表現にアラジンのランプの精ジーニーを一度呼び出してしまったら、願いを叶え果たすまで元に戻すことはできないという言い回しがあります。覆水盆に返らず、ジーニーを呼び出したはいいいけれど、いったい願いは、思いはどこに向かうのか・・・そもそもこんな打撃を起こすつもりじゃなかったんだけど・・・宙に浮いたジーニーをどうしよう・・・という、イギリス市民の声が聞こえそうな今回の国民投票、日本と同じ島国でこれまで異文化の人々を大量に受け入れたことがなく、EU の要望で言葉の通じない EU 国籍（特に価値観が 180 度異なる元共産圏の東ヨーロッパ）の人々が我が物顔で自分の町の三分の二を占めることになったイギリス田舎町の困惑は、もし日本の自分の町のスーパーマーケットで外国語が主に話されている状況を思い浮かべると、わからなくはないのですが・・・（ヨーロッパ大陸の方は、はるか昔より地続きで民族、文化が入り乱れており異民族、異文化の受け入れに柔軟性が高いようです）

スコットランドの独立？北アイルランドはどうするのか？ロンドンももしや独立？など、呼び出されたジーニーもびっくりの混乱は今後も続きそうで、ただイギリスで活動を希望する EU 以外の国籍を有する音楽家にとってはもしかしたらビザが取りやすくなるのかもしれないと、でもイギリス自体が孤立した場合、イギリスでの活動自体需要がなくなる可能性もあり、吉か凶かまだ様子見の状況です。

一つ確かなことはポンドが安くなる！イギリスへのフライトが格安になる！ということで、今年中には一度状況を把握しに渡英できればと思っています。もしイギリス旅行を計画中の方は今年中の敢行がおすすめのようです！

イギリス、そしてヨーロッパで素敵に充実していることの一つは、気軽に身近にいつでも音楽が聴ける、奏でられている空間があるということです。今日の夕方は時間ができたから夕食の前に、後にちょっと近くのカフェにコンサートを聴きに行こうか、今度の週末の集まりには音楽の演奏を頼もうか・・・カラオケではなく（もちろんカラオケも楽しいですが）幾世紀にもわたり多くの人に寄り添い続けるクラシック音楽、一見難しそうだけど実はとても筋が通っていて、なおかつ色々な楽しみ方のできる正統派クラシックを肩肘張らずに聴ける、そんな空間が日本でも増えればとの願いを胸に、今年の日本の後半戦も様々な企画、場所で演奏していけたらと思っています。

【伊都】



KAMOME Live Matters 加納伊都 × 中村新史

6月4日、横浜馬車道近くのライブハウス「KAMOME Live Matters」に出演。3月に共演したジャズピアニストでアコーディオン奏者でもある中村新史さんと再び盛り上がりました。以下、伊都さんご本人からの報告です。

「今回は、中村新史さんとの絡みで、スタンダードジャズの「いつか王子様が（白雪姫）」や映画「セッション」でもおなじみの「Caravan」など、かなりジャジーな曲と映画音楽が多く、よりジャズライブハウスらしいプログラムだったかなと思います。フィギュアスケートの浅田真央ちゃんが使ったことでも有名な「Por Una Cabeza」（映画セントオブウーマンにも使われていたタンゴの名曲）が、やはりアコーディオンとの演奏だとタンゴらしさが出るというか、リベルタンゴなどとともにオリジナルなタンゴ感が出ていて、皆様に楽しんで頂けたのではないかと思います。」

イギリス館コンサートの予告

TRAUBEN 主催 第 8 回イギリス館コンサート「Wiener Wind」を 9 月 3 日土曜の夜に開催することが決まりました！後援会の皆様には一般の座席予約に先がけ、7 月中旬にご案内をお送りし、座席予約を開始します。今回は土曜日ということで、すぐに満席になることが予測されますので、ご案内が届きましたらお早めのご予約をお待ちしております。



リラックスした雰囲気はこの笑顔！



エアジン看板犬のはなちゃんと



横浜エアジン Ito+Solo

6月25日、やはり横浜馬車道のライブハウス「横浜エアジン」でピアノなしのソロライブが行われました。今年開店47年目を迎えたエアジン、横浜では一番古いライブハウスです。マスターは、なんと伊都さんの大先輩、桐朋出身で元々クラシックのトランペット奏者！毎年「バッハ祭り」という、ジャズ奏者がバッハを演奏するというライブを企画されています。マスターいわく、ジャズのルーツをずっと辿るとバッハに行き着くそうです。ということで、ライブは伊都さんの本格的バッハのシャコンヌに始まり、「G線上のアリア」など耳慣れたバッハ数曲に続き、アイリッシュ、ジプシー、タンゴなど伊都さんの本領発揮ともいえる曲が熱く演奏され、伊都ファンだけでなく、エアジンファンのノリの良さに盛り上がりしました。

演奏者から一番後ろのお客様までが6～7メートルという至近距離で聴く、ヴァイオリンだけの音色は迫力満点！満員の三十数人のお客様の心を掴んだライブでした。



DVD Classic Collection

作品 No.26 「セント・オブ・ウーマン 夢の香り」

1992年 アメリカ

盲目の退役軍人と青年の旅が描く人間ドラマ



あらすじ

ボストンの名門高校に学ぶ貧しい奨学生チャーリーは、感謝祭の休暇中、盲目の元陸軍中佐フランク（アル・パチーノ）の世話をするアルバイトを引き受けた。不機嫌に悪態ばかりつく気難しいフランクは無理矢理チャーリーをニューヨークに連れて行く。飛行機はファーストクラス、超一流ホテルにレストラン、送迎はリムジンという豪華さにチャーリーは驚くことばかりだが…。

見どころ

伊都さんが演奏した、タンゴの名曲「Por Una Cabeza（ボルウナカヴェーサ）」で美しい女性とフランクがタンゴを踊るシーンは有名。この作品でアル・パチーノは念願の最優秀アカデミー主演男優賞を獲った。目が動かない、まばたきもしない名演技。プライドの高い口うるさい元軍人の悲しさ、寂しさを見事に演じている。チャーリー（クリス・オドネル）の純粹さにも涙する。

感想

心温まる人間ドラマだけではない、ハラハラドキドキシーンや、理不尽を正す水戸黄門のようにスカッとするシーンなど、ハリウッドテイストが面白い。題名の「SCENT（セント）＝香り」が表すのは、女好きなフランクが、女性のつけている香水だけで、その人の容貌や人柄まで言い当ててしまう鋭い嗅覚。生きる希望の源という意味かもしれない。

この映画を観てから、伊都さんの演奏を聴いて名シーンを思い出したかった！

*DVDはTSUTAYAの店舗でレンタル可能な作品のみをご紹介します

熊本地震災害義援金寄付のご報告

熊本地震により、被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

後援会では、義援金として1万円を日本赤十字社に「加納伊都後援会」の名義で寄付をしましたのでご報告致します。（支出は28年度会計報告（来年6月送付）に計上されます）

編集後記 「コンサート」と「ライブ」の違いを調べてみたところ「ライブ」も正しくは「ライブコンサート」の略なので、生演奏のコンサートなら、両者はほぼ同じ意味だそうです。が、より「生」を強調、つまり、演奏者と観客が共鳴し合い一体になって音楽を楽しむ…のがライブなのだと。ならば、ライブハウスでジャズだろうがクラシックだろうが魂のこもった演奏に心打たれるのは皆同じ。／エアジンの、イギリス人の常連さんは、伊都さんの演奏、特にアイリッシュ曲、ジプシー曲にとても感動してくれました。イギリスのEU離脱で、アーティストが入国しやすくなるといいね、とエールを送ってくれながら、／ピンチはチャンス。日本でのファンがますます増えるといいですね。〈ゆ〉

発行：加納伊都後援会 TRAUBEN

〒231-0835 横浜市中区根岸加曽台 15

TEL：045-622-6780

FAX：045-621-6423

Email：trauben@itokanoh.com

Homepage：itokanoh.com